

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和元年度 第6回丹波市文化芸術推進審議会		
事務局(担当課)	まちづくり部 文化・スポーツ課 芸術文化係		
開催日時	令和元年 11月22日(金) 午後1時30分～午後3時30分		
開催場所	丹波市立春日文化ホール		
出席者	委員	出席委員：角 悟、米村恵子、磯尾隆司、荻野直貴、藤野一夫 林 伸光、三木哲夫、大地常夫、山内順子、進藤妙子	
	指導者		
	事務局他	丹波市副市長 鬼頭哲也 まちづくり部長 足立良二 まちづくり部 文化・スポーツ課 課長 高見智幸 まちづくり部 文化・スポーツ課 係長 長井 誠 まちづくり部 文化・スポーツ課 主幹 高見辰二 まちづくり部 文化・スポーツ課 機械員 足立 稔 まちづくり部 文化・スポーツ課 非常勤 釣巻利勝 神戸大学 大学院生・大学生	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告・協議事項 (1) 丹波市文化芸術推進プロモーションビデオについて (2) 第5回(前回)の審議会以降の訂正・追加箇所について (3) 数値目標について 4 今後の予定について 5 その他 6 閉会		
会議結果	審議経過のとおり		

会 議 要 旨 （ 審 議 経 過 ）

事務局 (係長)	<p>1 開 会</p> <p>皆さん、こんにちは。文化・スポーツ課の〇〇と申します。</p> <p>本日は、ご多忙の中、ご出席を頂きまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の審議会につきましては、5名の委員様から欠席のご連絡を頂いております。</p> <p>定刻よりも少し早いですが、皆さんお揃いですので、ただ今から、令和元年度の第6回丹波市文化芸術推進審議会を開会させていただきます。</p> <p>この審議会は、公開で開催します。本日は、傍聴者及び記者の方はいらっしゃいません。</p> <p>ここで、委員以外の方の出席について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>審議会設置条例第6条の規定に基づきまして、まずは、神戸大学大学院生・大学生、また副市長が出席をさせて頂いておりますことをご了承の程、宜しくお願い致します。</p> <p>次に、注意事項でございます。この会議は、会議録調整のために録音をさせていただきます。会議中のご発言の際は、ご指名の後にお近くのマイクを使用して頂き、最初にお名前を述べて頂いてから、ご発言を頂きますようよろしくお願い致します。</p> <p>次に、資料の確認をさせていただきます。まず、先日、委員の皆様にご送付をさせていただきました本日の次第と計画書の素案です。次に、前回審議会の会議録でございます。この会議録につきましては、後程、ご確認を頂きまして、訂正等がございましたら、11月29日（金曜日）までに事務局へご連絡をよろしくお願い致します。その後、丹波市のホームページで公開をさせていただきます。最後に、文化ホールの自主事業等のチラシでございます。お手元でございますでしょうか。</p>
事務局 (係長)	<p>2 あいさつ</p> <p>それでは、お手元の会議次第の「2 あいさつ」でございますが、まず、丹波市〇〇副市長よりごあいさつをさせていただきます。</p>
副市長	<p>皆さん、こんにちは。丹波市副市長の〇〇でございます。毎回、各委員にはお忙しい中ご出席を賜りまして、ありがとうございます。この文化芸術推進審議会でございますが、昨年8月に第1回目を開催させて頂いてから1年3ヶ月が経過し、今回で第6回目ということで、終始ご熱心なご議論を頂きまして、誠にありがとうございます。お蔭をもちまして、ほぼ計画の原案がまとまってきたかと思っております。本日のご審議において大きな修正が無ければ、恐らく今回が最終の審議会になるのではないかと思っております。先月の10月には、丹波市文化芸術推進シンポジウムを開催させて頂き、パネリストとしてご参加を頂いた委員もいらっしゃいます。誠にありがとうございました。また、ビデオ制作におきましても色々ご協力を賜り、神戸大学の学生さん方にもご協力を頂きました。本当にありがとうございました。</p> <p>さて、この文化芸術計画でございますが、これまでの丹波市には文化芸術の推進に関する計画は無かった訳で、今回、初めて文化芸術の長期的な方向性を明らかにするというので、大変素晴らしい計画になりつつあるのではないかと思っております。</p>

また、この計画を策定済みの市町は県下でも非常に少なく、丹波市が策定すれば7番目ということになります。祖先や先代から受け継いできた文化芸術を守り、そしてまた我々の未来の世代に繋いでいく。これ自体が、非常に重要な意味のある事でございます。今回の計画では、それを更に人づくりの分野、あるいはまちづくりの分野にも活かしていこうという視点を取り入れて、文化芸術をきちんと活かしていく中で多くの人が文化芸術に触れることになり、そして理解をして頂き、更に文化芸術が守られ、あるいは発展していくという視点でも記述をさせて頂いております。この計画によって、更に丹波市の文化芸術の推進を図れたらと思っています。

本日は、所用のために退出をさせていただきますが、まずは委員の皆様方に御礼を述べさせていただきますということでございます。

また、この計画策定後も引き続き丹波市の文化芸術の推進にご理解、ご協力を賜りますことをお願い申し上げまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

事務局
(係長)
会長

続きまして、〇〇会長よりごあいさつを頂きたいと思います。

皆さん、こんにちは。だいぶ寒くなって紅葉が綺麗な中、今日もここまで参りました。計画の方は、ほぼ成案に近くなってきましたので、今日は皆さんから忌憚のないご意見を頂きたいと思います。さて、先程も学生と話題にしていたのですが、都道府県別の幸福度ランキングをご存知でしょうか。ここ10年くらい、2年に一度実施されていますが、少し気になるので、このデータをしばらく見ていました。私は兵庫県に関わることが多いですし、大阪府市に関わることも多いので、文化芸術に関する会議や学生には、「淀川を渡っただけで、兵庫県と大阪府市ではこんなにも違って、兵庫県の公共文化政策、文化振興のレベルは非常に充実しており、大阪府市と比べると一人当たりの文化予算は何十倍も違う」という話をよくさせて頂いています。特に、〇〇副会長がゼネラルマネージャーをされている兵庫県立芸術文化センターは、目覚ましい活躍をされています。これは偶然に発信されていることなのですが、このランキングに意外なことが出ておりまして、本当に頭の片隅にだけ留めて頂きたいと思うのですが、兵庫県は47都道府県の中で何番目にランキングしているとお思いでしょうか。幸福度を測るのは難しいのですが、健康・文化・仕事・生活・教育という項目で総力を挙げて調査をしているものなのです。その中で、毎回1位になる県があります。意外なことなのですが、ヨーロッパの中でも北欧は小さな国ですが、非常に存在感があります。実は、日本の北欧に当たるような所である福井県が常にトップなのです。そして2番目が東京ですが、その次は長野、石川、富山というように上位5県に北陸地方が入ってきます。これは、いったい何を意味するのかということです。それから、先程は大阪の話をしてしまいましたが、文化にフォーカスをした時に兵庫県はすごく充実していると思っていたのですが、これは民間も含めて全部トータルすると文化の中でも余暇、娯楽に該当する部分です。教養娯楽支出、余暇の時間、映画館の数、書籍をどれだけ買うか・幾ら買うか、それから文化を活動分野とするNPOの認証数等を総合すると、兵庫県は全国の中で何位だと思われませんか。実は、47都道府県の中で39位なのです。相当下位にランキングされていて、ちょっとビックリしました。ちなみに、大阪府は20位です。そして、大阪府は不思議なことに書籍の購入率が日本で1

番に高く、1万6千円くらいを買っていますが、兵庫県はその半分以下になっていません。これは一体どういうことなのか。不思議な感じがします。ただ、兵庫県は文化の中でも国際という部分での評価が高く、これは神戸市があるからだと思いますが、外国人の数、姉妹都市提携の数、留学生の数等で点数を稼いでいるので、どうか文化のトータルとしてはそれほど悪くないのですが、それを除いた余暇、娯楽という部分では39位という現状があり、どうも私の中では、実際に文化政策の現場に携わっている実感はこのような調査とは随分かけ離れているという気がします。しかし、実際にはこれらが東京発信のテレビ局でよく話題にされていて、県民を小馬鹿にするような番組が作られたりしています。だから、これらは本当にあてにならないと思うのですが、片方ではこのようなデータがあるということを知っておいた方が良いと思います。今日の協議の前座にはなりません、このようなデータがあるにも関わらず、実際に丹波市にはこれだけ豊かな文化資源があるということ、これに反発するような形で発信して頂ければと思っています。以上です。

事務局
(係長)

ありがとうございました。ここで副市長は公務のため退席させていただきます。

(副市長退席)

事務局
(係長)

それでは、ここからの進行は、〇〇会長にお願い致します。

3 説明・協議事項

(1) 丹波市文化芸術推進プロモーションビデオについて (試写会)

会長

それでは、お手元の次第の(1)になりますが、待望のプロモーションビデオ「丹波市文化芸術推進プロモーションビデオ」を皆さんにご覧を頂きたいと思います。準備の方はよろしいでしょうか。

事務局
(課長)

これからご覧を頂くビデオにつきましては、観光という視点ではなく、より多くの方々に市内の文化芸術を知って頂くために、現在、制作しております。先程、会長が“待望の”とおっしゃいましたが、そこまでには至っておらず、まだスタート地点に立った段階です。今日は、「活かす」という部分とエンディングをご覧になって頂きます。本来であれば、全部をご覧になって頂ければ良かったのですが、ご容赦を頂きたいと思います。「こういう感じなんだ」という形でご覧くださればと思います。それではよろしくお願ひします。

(ビデオ上映)

事務局
(課長)

ありがとうございました。まだスタート地点にやっと着いたという思いでありまして、これから業者と一緒に編集していきたいと思っております。

また、このプロモーションビデオにつきましては、市内の各住民センターに10インチのモニターを設置し、来館者にご覧を頂くように考えております。全編は20分程度なのですが、5分程度のダイジェスト版も制作し、どちらかをご覧になって頂くよう

	<p>な形で考えております。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、プロモーションビデオのご感想、ご意見を頂けましたら幸いです。どうでしょうか。先程のプロモーションビデオは、5分のダイジェスト版なのでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>先程ご覧を頂いたのは、全編の内の基本目標の4「活かす」とエンディングですので、残りのオープニングと基本目標1・2・3を合わせまして、全体では20分程度になります。なお、20分では時間が長いので、5分程度のダイジェスト版も作成し、住民センター等で来館者にご覧を頂こうと思っています。</p>
会長	<p>たぶん「活かす」という部分だからだと思うのですが、どちらかと言えば文化資源の中でも伝統芸能が多かったようです。その他にも色々ありますが、それは前半に登場すると思います。いかがですか。中身やデザイン、映像としてのクオリティー、あるいはこれが完成した後にどのような形で発信するのかというアイデアも含めて、ご発言を頂きたいと思います。</p> <p>先程おっしゃったことからすると、内向けというか市内の方にご覧を頂くのが中心ですか。市外に向けてのプロモーションということは、あまり考えていらっしゃらないのですか。</p>
事務局 (課長)	<p>そうですね。どちらかという観光のPRビデオではなく、この計画の中にもありましたように「市民自体が丹波市の文化芸術を知らない」という課題がございますので、丹波市民の方にご覧を頂いて、「市内でこんなことをしていたのか」「市内にこんな所があったのか」ということを少しでも知って頂ければと思います。まず、そこを狙いとして制作しています。もちろん、市外から来られた方にもご覧を頂けるようには思っていますが、基本的には市民をターゲットにしたビデオです。</p>
会長	<p>ご覧になった第一印象で結構ですので、〇〇委員どうですか。</p>
〇〇委員	<p>ありがとうございます。まず、映像を撮りに行き、そのデータを集めるということが大変だったと思います。ただ、言葉は悪いですが、偏っているというか、まだまだソースが少ないと思います。例えば、〇〇先生のお話しがゆっくりと収録されていて素晴らしいことだと思うのですが、まだまだ他にもありますので、自分達だけで全部を抱えられるのではなく、それぞれの分野の専門家に「こんなのないですか」「こういうのを紹介したいのですが」というように、市民や取組んでいらっしゃる方を活用して頂ければ、もう少し多彩になると思います。ドローンでしか撮れない映像等は、とても良かったと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。〇〇委員どうですか。</p>
〇〇委員	<p>盛り沢山で面白いと思ったのですが、20分間もご覧になる方がいるのでしょうか。次々に登場してくるので、知っている方は追いかけて観ることができませんが、初</p>

	<p>めて観る方にとっては、あまりにも盛り沢山だと思います。20分間の映像は結構長いので、飽きないように組み立てないと、20分間もご覧になるのは難しいのではないかと。せっかく制作したものが活かしきれないかもしれない。それを5分にすると、反対に短すぎるかもしれない。そんな感想です。</p>
会長	<p>なかなか難しいですね。〇〇先生のようにじっくりと2～3分くらいであれば頭に入りますが、パッパッと流していくと何が起きているのかを追っていけない方もいらっしゃると思います。</p>
〇〇委員	<p>知っている方が観ると、自分の知っていることが確認できるので、そうでもないのかもしれませんが。</p>
会長	<p>そうですね。〇〇副会長いかがですか。この分野には、かなりお詳しいと思いますが。</p>
副会長	<p>私がよく言うのは、「額縁広告にしない」ということです。良い作品が完成しても、額縁に入れて事務所の中に飾っているだけでは、プロモーションにはならない。「どう発信するか」ということが、作ったものを活かすことになると思います。だから、そういう意味では確かに推進計画ということで、市民に発表していくという形にはなるとは思いますが、やはり丹波市の魅力を発信していくというビデオになるはずなので、もう少し広域的にネット上の色々な形で発信できる方法、例えばSNSやYouTube、丹波市のホームページからリンクさせるという方法もあります。今後、そのような全国に発信できる仕組みをお考えになるとは思いますので、ご計画を頂けたらと思います。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>他には、いかがですか。よろしいですか。では、次に移りたいと思います。</p>
会長	<p>(2) 第5回審議会以降の訂正・追加箇所について 前回の第5回審議会以降の訂正や追加箇所についてですが、これは基本計画をご覧頂きながらになります。ではお願い致します。</p>
事務局 (課長)	<p>文化芸術活動 はい。それでは計画書の18ページをご覧ください。主に前回から変更させて頂いた箇所につきまして、ご説明を致します。「丹波市民の文化芸術活動」の一覧表です。黄色のマーカーで着色している「写真展」につきましては、芸術の分野に掲載しておりませんでしたので、「たんば写真クラブ」と「丹波写友会」を追加させて頂いております。</p>
	<p>地域の祭り 次に、20ページをご覧ください。このページにつきましては、丹波市議会の委員会</p>

において「地域の祭りを全て出してほしい」というご意見を頂戴しましたので、追加で掲載をさせて頂いております。ただ、本計画は文化芸術の計画ですので、地域の祭りを全て掲載することはできないと考えております。このページの上に説明書きを記載しておりますが、まず青色のマーカーにつきましては、「地域における文化芸術」から「文化財等」の分野へ移動したものです。また、黄色のマーカーは、新規に追加したものです。例えば、最上段の「大新屋新法師おどり」は青色ですので、「地域における文化芸術」から「文化財等」の分野へ移動したものです。また、2段目の「柏原おどり」は黄色ですので、新規に追加したものです。大きな仕分けとしましては、「文化財等」には無形民俗文化財に指定されている地域の祭りを全て掲載させて頂き、「地域における文化芸術」には文化財として指定されていない祭りを旧町域で1つずつ選定し、掲載させて頂いております。この「地域における文化芸術」につきましては、概ね次の3つの要件、基準で掲載をさせて頂いております。1つ目は、伝統文化の継承として、概ね踊りや所作に伝統文化の要素を備えているかどうか。2つ目は、祭りの規模が概ね旧町域の大きな祭かどうか。3つ目は、先程申し上げましたように、旧6町で1つずつということを目安に掲載をさせて頂いております。なお、最初に申し上げましたように、文化芸術の計画であることを念頭に置いた場合、地域の様々な形態の祭りを全て掲載することはできませんので、このような基準で掲載をさせて頂いております。後程、ご意見を頂戴したいと思っております。

基本目標

次に、38ページをご覧ください。黄色のマーカーの部分です。「市民に関すること」としておりましたが、その下段の「活動者に関すること」と「子どもに関すること」も市民に含まれますので、「鑑賞者・体験者に関すること」に変更させて頂いております。また、その下段「市民が癒される」には、「幅広い」を追加させて頂いております。

文化財の活用

次に、73ページをご覧ください。(2)の推進項目の上から3段目です。変更前は「稲畑人形等の文化財を活かした特徴ある展覧会を企画し、保存・継承へと繋げる。」としておりましたが、同じ無形文化財であります「丹波布」を追加させて頂いております。

文化的資源の活用

次に、75ページをご覧ください。(2)の推進項目の一番下段です。新規の推進項目として、丹波市議会の委員会におきまして、「中井権次さんの顕彰を入れてはどうか」というご意見を頂きましたので、丹波市に「ゆかりの深い芸術家・文化人の作品展示や活動紹介等により顕彰を行う。」という推進項目の追加をさせて頂いております。下段には、中井権次さんの「彫刻下絵」の写真を掲載しております。この写真につきましては、若干の入れ替えをさせて頂きたいと思っております。

(3) 数値目標について

数値目標

次に78ページをご覧ください。このページでは、大きく2点の変更がございます。1点目は、前回の審議会では、右から3列目の「目標値（令和11年度）」について、全ての指標で「現状値（平成30年度）」から一律に1.2倍の上昇とさせて頂いておりましたが、それを訂正させて頂きました。この点につきましては、後で説明させて頂きます。2点目は、最下段に黄色のマーカーをしております「まちづくり」に指標を1つ追加させて頂いたことです。

まず、1点目ですが、本日の会議次第の次のページの資料「丹波市文化芸術推進基本計画の数値目標（案）」をご覧ください。例えば、最上段の指標「一年以内に市内の文化ホール等が行う舞台芸術・音楽コンサートや美術館等が行う美術展等へ行ったことがある市民の割合」であれば、一番右の列に記載している「過去の実績」を基に目標値を47.0%と設定しております。このように、過去の実績や他市のアンケート調査の数値を参考にして、目標値を設定させて頂いております。また、右から2列目の「●（黒丸）印」につきましては、丹波市の総合計画や教育振興基本計画と同じ数値目標としております。

次に、最下段をご覧ください。2点目の「まちづくり」に指標を1つ追加した件です。「市内の文化芸術に関する施設来館者数の合計」ということで、過去5年の実績を参考に目標を設定しており、文化ホールはライフピアいちじま・春日文化ホール、植野記念美術館、市内5か所の歴史民俗資料館、丹波布伝承館、そして県の取組であります「シューベルティアアデたんば（丹波市内での開催）」について、一番右の列に平成26年度から合計来館者の実績を記載しております。この実績数値に基づいて、目標値を88,000人と設定し、「文化芸術がまちの賑わいや活性化に貢献しているか」の指標を新たに設定させて頂いております。

次に、次第をご覧ください。最下段の②の「文化芸術に関する施設の来館者数（新規）」の表です。先程の平成26年度からの実績数値の明細でございます。この他にも文化的な施設はありますが、概ね年間1,000人以上の来館者がある施設を設定しています。なお、この表の下段に記載のとおり、「シューベルティアアデたんば」につきましては、「ふるさと音楽ひろば（小学生対象）」や「キン・コン・カンコンサート（中高生対象）」を除いております。これは、各学校において授業の一環でされておりますので、先程申し上げました「文化芸術がまちの賑わいや活性化に貢献しているか」という考え方には該当しないためです。

資料編（シンポジウム他）

次に、83ページをご覧ください。ここからは、本計画の資料編です。初めてご覧頂く部分です。まず、83ページは市長から審議会への諮問書で、ここからスタートしたということでございます。

次に87ページをご覧ください。このページは、審議会委員様の名簿です。委員様のお名前、所属団体名今一度ご確認ください。なお、最下段に記載のとおり、所属団体名等は委員に就任頂いた当時のものですので、その点をご了承くださいますようお願い致します。

次に、89ページをご覧ください。このページは本計画の策定経過です。明日、11月23日からパブリックコメントを実施する予定にしております。

次に、90ページをご覧ください。先月に開催しました文化芸術推進シンポジウムの

	<p>まとめです。全体で250人の方にご参加を頂きました。当日は、〇〇会長をはじめ、パネリストをお世話になりました〇〇委員、また、大変お忙しい中、ご参加を頂きました皆様に厚くお礼を申し上げます。最下段の6番は、シンポジウムの要点（まとめ）でございます。次の91ページは、実践報告を頂いた先生方のご発言の要旨を記載しております。後程、ご覧を頂きたいと思います。</p> <p>次に、92ページをご覧ください。参加者にご意見やご感想をお書き頂いたアンケートの結果です。全体的にはごく少数ではありますが、「あまり興味が湧きませんでした」や「難しくて分かりにくかった」というご意見もありましたが、大多数は「素晴らしいシンポジウムであった」というご感想を頂戴しました。特に、93ページの中央付近の10番をご覧ください。パネラーの皆さんへということで、〇〇先生には「自分の人生を通して、未来に夢を持って仕事をされていて素晴らしい」、〇〇委員には「地道な歴史活動の紹介、お腹にドーンとききました」、〇〇先生には「素晴らしい活動です。世界的な広がりを感じます」、〇〇先生には「城崎の素晴らしさを学ばせて頂きました」、まとめとして「A Iに負けない人づくり、専門職大学とも繋がる、文化芸術のレベルの高い未来ある子育てをしたいですね」というご感想でした。以下、95ページまで全ての感想を載せておりますので、後程、ご覧を頂ければと思います。</p> <p>以上、誠に雑駁（ざっぱく）な説明ではございましたが、ご審議の程、宜しくお願い致します。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、只今のご説明について、ご意見や疑問点がございましたら、発言をお願い致します。20ページですが、当初は「地域における文化芸術」に入っていたものを「文化財等」にかなり移動しています。これは6ページにある国の文化芸術基本法分野に則して、市等の指定民俗文化財は全てこちらに移動し、無形文化財も追加したということで、ここが増えていきます。その代わりに「地域における文化芸術をどうしようか」と迷ったわけですが、色々多彩な活動、新しいものも古いものもありますし、クオリティーというのはなかなか難しく、中身はだいぶ違います。そこで、旧町から代表的なものを1つ選ぶという形で、6つのお祭り系のものをここにピックアップしております。網羅ではなく、あくまで代表的なものということで、ご了承を頂ければと思います。</p>
〇〇委員	<p>〇〇です。今の「地域における文化芸術」という中で、先日の新聞を読んでおりますと「石龕寺もみじ祭」は今回が最後だという記事が載っておりましたが、ここに挙げてどうなるのでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。私も「石龕寺もみじ祭」に行かせて頂きました。大変残念なことではありますが、「これからも小規模でも続けていきたい」という思いを聞かせて頂きましたので、「復活して頂きたい」という思いも込めて、敢えてここに記載をさせて頂いております。</p>
会長	<p>例えば、それは実行委員会のメンバーでは、なかなか維持・存続が難しいという事情があるということでしょうか。</p>

事務局 (課長)	私が聞いたのは、やはり自治会の負担が大きく、なかなか存続が難しいということでした。他には、例えば後継者の問題等もあるのかもしれませんが。当日は、非常に沢山の人で賑わっていると感じました。素晴らしいお寺ですし、景色も良かったです。
会長	他の項目も含めていかがでしょうか。
事務局 (課長)	この20ページにつきましては、丹波市議会の議員から「全てを出してほしい」というご意見がありました。なかなか伝統的な文化であつたり祭りというのは、はっきりと「これが伝統的な祭りです」と言えないことがあつたりします。従いまして、ここに挙げている「地域における文化芸術」につきましても、文化と言えるまでには至っていないものもあると感じています。 また、例えば、柏原地域であれば、丹波・但馬・丹後の“三丹一”と言われる「丹波柏原厄神大祭」がありますが、それではなく「織田まつり」を記載させて頂いております。なぜ、そのようにさせて頂いたかと言うと、冒頭でご説明を致しましたとおり、「踊りや所作に伝統文化の要素を備えているか」という基準に照らし合わせると、「織田まつり」の方が文化芸術の計画には相応しいのではないかということで、この「織田まつり」を挙げさせて頂きました。それぞれの旧町域において、どれが大きな祭りかということも踏まえまして、ご意見を頂ければ大変嬉しく思います。
会長	ありがとうございます。いかがでしょうか。
〇〇委員	訂正でもよろしいでしょうか。
会長	皆さんと議論して合意が得られれば、もちろん結構です。
〇〇委員	よろしいですか。70ページに掲載されている写真のキャプションについてです。まず1点目は、常勝寺の「追軟式」となっていますが、「追儺式」です。人偏の“儺”という漢字で、“追儺”という式です。それと、その上の「熊野神社の裸祭」ですが、確か「今出のはだか祭り」だと思います。あそこは今出という所ですので、「今出」は漢字、「裸」は平仮名、「祭」には平仮名の「り」があったと思います。それと、この写真ですが、本来の「はだか祭り」は体をぶつけ合うのが主なのですが、これでは「はだか衆のひな壇」になっていますので、写真を検討されてはどうかと思います。あともう1点は、次のページのトピックスに出ている「シティプロモーション」です。巻末の用語集では「プロモーション」の解説になっており、「プロモーション」と「シティプロモーション」では、かなり意味が違うと思います。「シティプロモーション」には地域再生という意味があると思いますので、用語集では「シティプロモーション」を解説する方が適切ではないかなと思います。以上、細かい点ばかりで申し訳ないですが、よろしくお願いします。
事務局 (課長)	ありがとうございます。70ページの「追軟式」の字につきましては、間違っていると思いますので訂正をさせていただきます。それと「はだか祭り」につきましては、確

	<p>かに体をぶつけ合っている写真の方が良いかと思ひます。この写真は、最後の儀式だと思ひのですが、たくさん参加しているということを表示したかったので、この写真を添付させて頂いたということで、ご理解を頂きたいと思ひます。見方によっては〇〇委員が言われるに「これとは違ふ写真を」と言われる方もいらっしゃるかもしれませんが、そのような意図です。廃れていくのではなくて、これだけ多くの方が「はだか祭り」に参加して、体をぶつけ合っている姿を見て欲しかったという意味です。それと「今出のはだか祭り」というタイトルに關しましては、こちらでも文献等で確認した結果、これが一番良いのではないかということなんです。もう一度、ここは確認させて頂きたいと思ひています。それとプロモーションにつきましては、そのような形で訂正をさせていただきます。写真につきましても、再度、検討をさせていただきます。</p>
会長	何かシティプロモーションの定義はございますか。
〇〇委員	特にはありません。一般的な意味で良いと思ひます。
会長	最近、シティプロモーション、基礎自治体、都市魅力、都市魅力発信、等々が色々あります。これも検討をお願いします。
事務局 (課長)	先程の70ページの「熊野神社の裸祭」の件ですが、市の指定文化財の名称がこれになっております。そのため、この名称を使わせて頂いています。それでよろしいでしょうか。
会長	他には、いかがでしょうか。〇〇委員。
〇〇委員	〇〇です。ちょっと的外れな意見かもしれませんが、先程、〇〇課長が「織田まつり」と「丹波柏原厄神大祭」を比較されて、「織田まつり」を選ばれたと言われました。その説明自体は納得できましたが、たぶん行政の方ですので、「旧6町で一つずつ平等に」ということを大事に思われているのではないかと思ひます。確かに「丹波柏原厄神大祭」には出店があって、たくさん人が来るというだけのイメージを持たれているかもしれませんが、本当の厄除大祭の神事は「青山祭壇の儀」という千何百年も続くような神聖な儀式です。それよりも「織田まつり」が優先されるというのは、どうも私には納得ができません。そのようなことがありまして、必ずしも旧町の一つずつではなく、ページ数を増やしてでも掲載すべきではないかと思ひます。
事務局 (課長)	ありがとうございます。その点につきましても、旧町域で二つにするということも含めて、再度、検討させて頂きたいと思ひます。ただ、本来であれば、神事はこの文化芸術の計画から外れると思っております。しかし、その上に書いております「文化財等」は神事ではないのかと言えば、全部神事です。ですから、そのこの区別というのは、なかなか明確にできないことがありまして、非常に悩んでおります。一つではなく二つということも含めて、再度、検討させて頂きたいと思ひます。
会長	どうぞ。

〇〇委員	<p>〇〇です。20ページの「文化財等」ですが、土地に根付いた踊りやお祭りというのは、本当にたくさんあると思います。私の住まいは氷上町の新郷です。全部のお祭りを挙げたと言われましたが、ここには「新郷の秋祭り」がありません。秋祭りの際には、新法師おどり等の文化もあります。全てを網羅するという事は絶対に無理だと思います。しかし、住んでいる者にとっては、挙がっていないのが何か寂しいです。たとえ言葉の端にでも、「この他にも沢山あります」というイメージがあればいいのですが、「これだけです。以上」と言われると、私達が大事にしてきたものは無いのかと思います。ですから、その辺が難しいとは思いますが、氷山の一角ではないですが、「まだまだあります」というような表現がないと、四捨五入という感じがします。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。これは基準について話し合い、それを基に掲載をしています。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。〇〇委員がおっしゃったとおりでございますが、18ページに「丹波市民の文化芸術活動（活動例）」と一番上に書かせて頂いております。あくまで活動例ですが、なかなかご理解を頂ける方が少ないのではないかと思います。非常に難しいと思っております。20ページの文化財等につきましては、文化財に指定されているものを全て挙げております。また、下の「地域における文化芸術」につきましては、それぞれの地域の代表的なものを挙げてある活動例ということで、何とかご理解を頂けないかと思っております。非常に難しい部分ですので、再度、そこを含めまして検討したいと思っております。その他にも「ここには挙がっていないが、これは挙げるべきだ」というものがございましたら、お教え頂ければと思います。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。事前に全く協議していないのですが、国の文化芸術の範囲における生活文化は、かなり幅が広いです。茶道や華道、書道は当然として、食文化までもが含まれているのは、ユネスコの世界遺産に食文化が入ったことの絡みで、新たに今回の法律に入ったものです。この基本計画に食文化まで含めるのかどうかということは、議論していなかったかと思っております。もちろん、先程の観光には食文化が入って来たりしますが、皆さんは食文化についてどう考えられていますか。生活文化の中に食文化も入れた方が良く考えられているのか、そこまで広げない方が良くないか考えられているのか。</p>
事務局 (課長)	<p>食文化につきましても事務局では、当初に検討させて頂きました。例えば、市島町の前山地区の奥ですが、昔はヨモギを採って川で洗い、洗った後は川が真っ青に綺麗になったというお話しをお婆さんから聞いたことがあります。そのようなものが食文化に含まれるのではないかと思います。また、文化庁長官でしたか、味噌汁も食文化ということをおっしゃっていました。ただ、食文化を入れても何かの施策に繋がらなければ、なかなか取り上げて難しいと事務局では考えておまして、何か施策に繋がるといふものあれば、そういったものも入れたら良いと思います。ただ、現時点では、そこまで至らなかったということです。</p>

会長	<p>「活かす」という部分では産業振興に繋がる等が、なかなか見出せないことがありますので、もし食文化というキーワードでアイデアがございましたら、お出し頂けたらと思います。</p>
〇〇委員	<p>よろしいですか。〇〇です。食文化と言いますか、現在、丹波市でも“丹波三宝”というものを勧めています。もちろん観光協会も連携して、先日もスイーツフェスティバルを実施しました。“三宝”とは、丹波栗・大納言小豆・黒大豆です。この三つは、いわゆる産業振興も兼ねており、“丹波三宝”を丹波市の特産として更に広めていこうという活動をやっておりますので、そこは繋がっていくと思います。</p>
〇〇委員	<p>シティプロモーションの中ではあります。</p>
〇〇委員	<p>そうです。その辺で、上手く結びつけができないかと思います。</p>
会長	<p>副市長からも「産業振興に繋がる部分が何かないか」という宿題は出ていたのですが、なかなか見つかりませんでした。見える化をさせるということで、書いた方が良いのであれば、どうでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。また事務局でその辺りを検討させて頂きまして、可能であれば記述をさせて頂きたいと思います。</p>
会長	<p>他には、いかがですか。</p>
〇〇委員	<p>〇〇ですが、もう一回戻ってよろしいか。78ページの数値目標なのですが、例えば植野美術館で言いますと現状値が18,369人と書いてあります。これは平成30年の入館者であって、その3つ横には「過去5年の来館者数の平均値に対して1.2倍を目標設定する」として、目標値に24,000人と書いてあります。この18,369人は平成30年度の数字で、過去5年間でいうと19,660人くらいの数字になってきます。現状値とは、平成30年度の数字を指すのか、平成30年度に出した過去5年間の平均値を指すのかによって、少し変わってくるのではないかと思います。18,369人を1.2倍すれば約22,000人になり、2,000人くらい目標が下がります。大した問題ではありませんが、きっと他にもそういう数字が出てきます。だから、「平成30年度の段階で過去5年間の平均値がこれだから、これからはこういう数字にしましょう」というのが良いのではないかと思います。それと、植野記念美術館の入館者数は、令和11年度の目標数値に24,000人と書いてあります。これは令和11年度に24,000人を超えれば良いと言っているのでしょうか。または、そうではなくて平均して24,000人くらいにしましょうと言っているのか。ここでも数字に令和11年度と書いてあるので、例えば植野記念美術館で言うと平成27年度であれば超えています、他の年度は下回っているということになります。だから、令和11年度には何人と言うと受け止め方になると、その年に超えていけば良いというくらいに思ってしまう。今の考え方は、「平均で超えましょう」だと分かっているのですが、数字だけ書くと何かその辺が少し分かりづらいと思</p>

	<p>っています。以上です。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。少し分かりにくい書き方かもしれませんが、まず、2つ目のご質問ですが、28,000人や24,000人と書かせて頂いているのは、その年その年の目標という意味での数値です。例えば、その上の47%や62%という数値は、「令和11年度にはこの数値に達しましょう」という数値です。この78ページの表で言いますと、この青い部分だけは毎年の目標数値で、それ以外は「令和11年度にそこまで持っていきけるように施策を打って、その目標に向けて進めていきましょう」ということです。そのこの表現を書いていないことについては、何かかの工夫をさせて頂きたいと思いません。それと、次第の次のページの数値目標をご覧ください。ご質問に当てはまっているかは分かりませんが、上から3行目の植野記念美術館の年間入館者数につきましては、過去実績では平成26年度から14千人⇒28千人⇒22千人⇒14千人というように大きい浮き沈みがありますが、平成30年度までの平均値を採って、それに1.2を掛けた数値です。繰り返しになりますが、毎年24,000人に達するように施策を進めていく、事業を進めていくということです。</p>
〇〇委員	<p>私が言いたかったのは、「過去5年の平均値＝現状値ではないですか」ということです。「過去5年で割ったら、19千人くらいになる。だから、それを1.2倍したら2万いくらになりますよ」ということです。ここで出ている18千人を現状値だと言ってしまうと、それを1.2倍した22千人くらいになってしまうので、「現状値には、平均値を出しておけば良いのではないですか」ということを申し上げています。</p>
事務局 (課長)	<p>どの計画においても、現状値には直近の数値を挙げており、この計画だけ平均にすると例外になりますので、こちらと致しましては直近である平成30年度の現状値を書かせて頂いて、目標値については過去の平均を用いるということで、記載の仕方を工夫したいと思います。</p>
会長	<p>よろしいですか。</p>
〇〇委員	<p>数字が違うから、なぜなのかと思っただけの話です。</p>
事務局 (課長)	<p>そこはちょっと、書き方を検討します。</p>
会長	<p>括弧を使って、5年間の平均値を入れておくのは、どうですか。その5年間に対して1.2倍の24,000人となりますので。</p>
〇〇委員	<p>その方が、数字が合ってくると思います。</p>
会長	<p>括弧を使って、5年間平均値を下に書いておけば良いのではないのでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>

会長	他はいかがでしょうか。
〇〇委員	<p>よろしいですか。15ページの歴史民俗資料館のことです。この冊子がいつ完成するのか、いつ市民に向けて発信されるのかにもよりますが、残念ながら青垣歴史民俗資料館は、閉鎖の方向で審議会に挙がっています。今日の時点で言うと、青垣歴史民俗資料館は存在していますが、ここに載せるかどうかも含めて、計画に逆行するようなことで残念です。そういった意味では、入館者数を増加させるという目標値について、もちろん存続した資料館がもっと色々な企画をして頑張るといことはありますが、あくまでも目標ですので、無理のないようにしなければいけないと思います。あるいは、もし目標を定めるのであれば、もう少しそのような目標を持って、何とか指数を上げる努力をして欲しいということを文化財課に言うておかなければいけないと思っています。それから、先程から話題になっている20ページの「織田まつり」について、〇〇委員がいらっしゃる前で私が言うのも僭越ですが、現在ではパレードをやっている、ある意味では参加型が良いとは思っています。しかし、元々は建勲神社のお祭りで、本能寺の変で亡くなられた先祖の霊を慰めるために、織田家の方々が本能寺の変の日を集まってお祭りをされたのです。現在では、パレード的な要素になっていますし、お祭りの日付も移っていますが、元々はそのようなお祭りであったということは、皆様にも知って頂きたいと思います。それから、「竹田まつり」の「まつり」は、平仮名なのでしょうか。</p>
事務局 (課長)	パンフレットには、「祭」と漢字で書いてあります。
〇〇委員	<p>そうですね。ご確認を頂ければと思います。それと、「各町一つずつ」や「旧6町」ということを皆さんはすぐ意識されますが、先日のシンポジウムでは、豊岡市の方が「“何で城崎ばかり”という批判はあったが、“そういうものが城崎にはあるから”と冷静に理解してもらっている」とおっしゃっていましたので、特に一つずつに拘らなくても良いのではないかと思います。以上です。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。まず、15ページの青垣歴史民俗資料館の件です。この件につきましては、こちらの方も掌握しておりまして、この計画が完成するのは2月です。その時点では存在していますので、挙げています。あとは、〇〇委員のご意見を参考に、一度考えさせて頂きたいと思います。以上です。</p>
会長	ありがとうございます。他には、いかがでしょうか。挙手をお願いします。
〇〇委員	<p>〇〇です。昨年8月の第1回から、今回で6回目の審議会を迎えていますが、丹波市民の皆さんが文化芸術に興味を示し、色々な文化、お祭り・伝統芸能等に目を向けて、関心を持っていくことが最終的な目的であって、パーセントを上げていくことではないと思うのです。正直なところ、私としては「名前は知れども見たことがない」という文化財や文化芸術が多数ございます。ですから、そのようなものを含んだプロモーションビデオにして頂きたいと思います。これまで、市民・新成人・高校生・団体のアンケート調査結果を基に色々な審議をしてきたので、観たことがない場所にも</p>

	<p>実際に行ってみて、「こういう所があるのだな」と知ってもらえるようなプロモーションビデオにすることが、私達また市民の目線ではないかと思っています。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ご意見としてお聞きしておきます。あと、色々な分野で活動されている方も素晴らしいので、関心を持っている方も溜まれるような文化サロンやアートサロンのような場所が必要だと思うのですが、そのような所でこのプロモーションビデオを流して欲しいと思います。それから、教育現場です。特に、小学校の授業において、このプロモーションビデオを使い、解説付きで丹波市の色々な地域に色々な文化があるということを知ってもらうことが重要だと思います。教育委員会と相談することで、これが可能になるのでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>可能かどうかは、教育委員会に確認してみなければ分かりませんが、学校の教育カリキュラムに入っていけるかどうかは課題になると思います。すでに、ふるさと学習等で地域の歴史を勉強されておりますので、そのような機会に紹介や教えることができればと思っています。それぞれの学校において、特色のある学習をされておりますので、ご要望があれば当課も喜んで出前教室をさせて頂きたいと思っています。</p>
会長	<p>まず、教員の研修会等で観て頂き、説明をするようなことができればと思います。その際には、〇〇委員もよろしくお願ひします。他には、いかがでしょうか。よろしいですか。</p>
〇〇委員	<p>質問をしてもよろしいですか。〇〇です。私は展覧会の直前のため、どうしても出席することができませんでしたが、90ページからのシンポジウムについてです。私は、あまりアンケートの意見に一喜一憂する必要はないという考えの持ち主ですが、そのアンケート集計結果の中で、93ページの最上段に20代の男性から「あまり興味が湧きませんでした」との意見があります。シンポジウムというのは、少なからず興味のある人が参加されていると思うのですが、「あまり興味が湧かない」というのは、どういうことなのか。何か、主催者側で「こんなことが原因ではないか」ということがあれば、お聞かせ頂きたいと思っています。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。この「あまり興味が湧きませんでした。」というご意見ですが、質疑応答の最後に質問をされた方がおられました。その方が、このご意見を書かれたのかは分かりませんが、「福知山温泉に行ったけど、隣で喋っていたおじさんは誰だったのか」というような質問をされた方がおられまして、〇〇会長や司会者に上手くまとめて頂きましたが、そのような方がこのご意見を書かれたのではないかと思います。概ねは、良いご意見を頂きました。</p>
〇〇委員	<p>すみません。反対意見の中にも、放っておいたら良いような意見も沢山あると思いますが、概ね称賛の意見が大多数を占めております。この方々に関しては、放っておいても興味を持ってくれると思うのですが、反対意見には、放っておいても良い意見とそうではない意見があるように思いますので、そこが気になった点です。</p>

事務局 (課長) 会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>シンポジウムも含めて他いかがですか。</p>
〇〇委員	<p>〇〇です。しばらく新聞も読んでいなくて、まとめて読んだので教えて欲しいのですが、64ページの「子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす」の中にある、「シューベルティアードたんばの充実」についてです。新聞で読んだのか覚えていないのですが、シューベルティアードが少し形を変えるや継続が難しい等、そのような記事が最近なかったのでしょうか。</p>
会長	<p>うちのゼミ生が、シューベルティアードに携わっております。</p>
〇〇委員	<p>そうですか。もし事実であれば、学校を会場にしていたコンサートが徐々に減るような印象があったのですが、ご存知であれば教えて下さい。</p>
神戸大学 (〇〇)	<p>神戸大学院生の〇〇と申します。今年度の「シューベルティアードたんば」は、「街角コンサート」「ふるさと音楽ひろば」「キン・コン・カン・コンサート」、三つのメインコンサートでした。丹波の森公苑のご担当者とお話する機会を多く頂いたのですが、そのようなお話しは聞いておりません。ただ、「キン・コン・カン・コンサート」に関しては、基本的に中学校か高校の依頼を受けて実施されているのですが、その依頼が年々少なくなっていると聞きしました。その理由としては、学校が行事で多忙であることや他の様々な事情によって、依頼をしにくい状況が増えてきているようです。「ふるさと音楽ひろば」に関しては、丹波市と丹波篠山市を合わせて、基本的に実施できる校数が決まっているようです。以上です。</p>
〇〇委員	<p>ありがとうございました。最近、美術館では新しく幼少期と言うか、子供たちを対象にした会が開催されており、大変素晴らしいと思っています。参加された方は、大変喜ばれているようです。</p>
会長	<p>シューベルティアードについて、今年の試みとして市外へのPRをしました。県立美術館等については、今年の効果を検証して、次年度以降の実施を決めるのでしょうか。</p>
神戸大学 (〇〇)	<p>今年、PRコンサートを実施したのは、シューベルティアードが25周年というのが、一つの理由です。シューベルティアード全体で、25回のコンサートをするという目標を掲げて、ピアノコンサートをしたそうです。今回のコンサートでアンケートをした結果、市外からのお客が増えていることを考えて、今後も実施するかを検討させて頂きたいとおっしゃっていたのですが、なかなか丹波の森公苑と丹波県民局の資金では難しいので、予算的に来年も実施するかは未定とのことでした。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。シューベルティアードに関しては、よろしいですか。そ</p>

	<p>の他には、いかがですか。よろしいですか。只今、本当に活発で様々なご意見を頂きましたので、これらを踏まえた上で、更にブラッシュアップしていきたいと思えます。</p>
	<p>4 今後の予定について</p>
会長	<p>では、事務局から「今後の予定について」をお願い致します。</p>
事務局 (課長)	<p>それでは次第の4番「今後の予定」につきまして、ご説明をさせて頂きたいと思えます。明日からパブリックコメントを実施しまして、市民の皆さんに公表をさせて頂きます。12月の下旬頃まで行います。その後、第7回の審議会につきましては、現時点では令和2年1月20日を予定しておりますが、一番右の内容欄に記載のとおり、今回の審議会資料から大きな変更があった場合には、開催させて頂きます。本日、沢山のご意見を頂戴しましたので、変更点が多ければ開催させて頂きたいと思っています。いずれにしても、ご通知をさせて頂きますので、よろしくお願い致します。なお、審議会を開催しない場合、パブリックコメント実施後の軽微な修正につきましては、〇〇会長にご一任を頂きますよう、ご了承の程、よろしくお願い致します。その後、市長への答申としまして、〇〇会長から市長への答申を令和2年1月20日頃に予定しております。また、定例教育委員会や丹波市議会の総務文教常任委員協議会にも報告し、令和2年2月を最終の策定予定としております。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。教育委員会の意見を頂くのが1月27日ですが、ここでは大きな問題にはなりませんか。</p>
事務局 (課長)	<p>分かりません。今日の祭りや文化財について、また色々なご意見を頂けるのではないかと考えています。そのご意見も踏まえて、まとめ挙げていきたいと思っています。</p>
会長	<p>国の法律では、教育委員会の意見を聴くということが明記されていますので、ここが一つの関門だと思います。</p>
	<p>5 その他</p>
会長	<p>その他には、いかがでしょうか。せっきくの機会ですし、もしパブリックコメントで大きな懸案が持ち上がらない場合は、第7回の審議会を開催しないこととなります。そうなれば、今回が最後の審議会になる可能性もございますので、何なりとご意見を頂ければと思います。特に、この計画を紙だけのものに終わらせないために、今後の進捗管理をどうするかということについて、皆さんのご意見を頂ければと思っております。いかがでしょうか。修正が無かったので説明ありませんでしたが、79ページに「計画の推進」があります。1つ目の「庁内推進体制」は、庁内検討会議において進捗状況の共有を図り、事業の充実に努めていくというものです。それから、2つ目は「関係機関等との連携」、3つ目は「市民・団体等との協働」ということで、今</p>

	<p>後、この計画の推進や進捗管理に3つのポイントがありますが、この辺りについて皆さんはイメージが掴めますでしょうか。数値目標を1つの指標にして、庁内検討会議で進捗管理を行っていく訳です。庁内検討会議は、年に2回くらい開催されるのでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>そのとおりです。</p>
会長	<p>それは、どのような方法で公表されるのでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>ホームページで公表させて頂く予定にしています。</p>
会長	<p>先日のシンポジウムでは、城崎国際アートセンターの〇〇館長にパネリストとしてお越し頂きました。〇〇館長には豊岡市の先進事例をお話し頂いたのですが、1年半前に豊岡市の基本計画をまとめさせて頂きました。その後の進捗管理については、委員会を設けずに庁内検討会議で行うということになりました。私は、別の委員会でも豊岡市に行く機会が多いのですが、後日、文化振興課の担当者に聞くと、進捗を管理していないことが判明し、ちょっとショックでした。豊岡市は、イベント等の事業を沢山しており、特にサマーシーズンという1市5町のそれぞれのポイント毎に、今までやっていたものを一纏めにした冊子を作り、見える化に繋げていくことを積極的にしています。サマーシーズンの会には、色々な人が集まるので、そこでは何か全体のことを皆で考えていこうということができているらしいのですが、策定した計画に対するリフレクションということが、この1年半くらい行われていないようです。丹波市では、そのようなことが無いようにと私は思っているのですが、いかがでしょうか。これは、〇〇部長からお答え頂く方が良いのかもしれませんが。</p>
事務局 (課長)	<p>新規が20件、拡充が20件、継続が17件の合計57件の施策がありますが、その殆どが今やっていることです。新規と言いましても、大きな予算を費やして何かをするということではなく、「今できることをしていく」ということをベースに考えています。「できる範囲のできることを精一杯やっていく」というスタンスですので、進捗管理をしていく中で、そのようなことを職員同士がしっかりと検証して、次に繋げていきたいと思っています。丹波市においても、総合計画や教育振興基本計画等の計画がありますが、とにかく計画を作るためであったり、その進捗管理をするためだけの仕事になってしまうということがありますので、事務局としましては、計画の進捗管理をしながら実行していく必要がありますが、実施していくことに重きを置きたいと思っており、その点をしっかりと庁内検討会議でも取り組んでいきたいと思っています。</p>
会長	<p>実施の際の推進体制は、どのように考えられていますか。特に、新規事業ですね。</p>
事務局 (課長)	<p>それぞれの課単位ですので、例えば当課であれば文化ホールの事業がメインで、その他に丹波アートコンペティション(市展)があります。また、文化財課は文化財課、植野記念美術館は植野記念美術館でイベント等を仕掛け、それぞれの課でしか</p>

	<p>りと目標に向かって取り組んでいきたいと考えております。</p>
会長	<p>委員の皆さんいかがですか。最後のチャンスです。</p>
〇〇委員	<p>いいですか。〇〇です。それぞれの課で頑張ることも、もちろん大事なことだと思うのですが、79ページの「(3) 市民・団体等との協働」も含めて、一つは「市民がどこに行ったらいいのか」ということがあると思います。それと、市民プラザとの連携はどうなっているのでしょうか。先程、〇〇会長がおっしゃったように、色々な活動をしている人達の居場所であったり、市に「こういうことをするのですが、どうですか」ということを尋ねる際に、一元化されていなくても構わないと思うのですが、そこに行けば「それは、ここに行ってください」のように、せめて繋いでくれる窓口が市民プラザ等にあれば良いということ。もう一つは、美術館と歴史民俗資料館を繋ぐもの等、普段は別々に活動しているが、「ちょっと聞いておけば良かったのに」や「ちょっと情報を頂けたら良かったのに」ということが結構あるので、活動情報や連携情報が得られるような市民プラザであれば、一番良いと思うのです。市民プラザを運営されているのは、別の部署だと思いますが、是非とも連携をして頂きたいという希望です。</p>
事務局 (部長)	<p>先程、課長から「それぞれの事業の推進については、課単位で」と申し上げました。あくまで、事業の推進は課単位で行っていく訳ですが、「この計画に基づいて、どこまでの進捗状況か」というトータルのコーディネートについては、庁内検討委員会を踏まえて全体を管理していきます。また、この計画を大きく変更する等の必要が生じましたら、皆様に再度お集まり頂いて、それを検証していくような場面もあろうかと思っております。市長は、この計画に対して非常に高い関心と自身の志という部分を強く持っておりますので、そういった場合には市長の思いを活用・確認していきながら、進めていきたいと思っております。また、先程、〇〇委員からご意見を頂きました「市民プラザ」は、私の所管である「まちづくり部」です。丹波市の文化芸術を活用して生き生きと生活をしたい方、その他の分野で活用したい方、悩みをお持ちの方等、全ての市民の情報を市民プラザで集約するという形になってきます。「こんな文化芸術活動をしたい」「私はこんな特技を持っている」という方もお越し頂ければ、きちっと仕分けと集約をし、ハブ機能になるような市民プラザを目指しておりますので、是非そういった情報を集めることについては、委員の皆様にもお願いしたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
〇〇委員	<p>〇〇です。今まで気付かなかったのですが、この文化芸術に関するアンケート調査やホールの入場数等は、先程の〇〇課長のお話しによると、市の文化ホールを基に把握されています。しかし、私はコーラスをやっていますが、私達の場合は丹波の森公苑を使っています。丹波の森公苑は、「丹波市で演劇活動や芸術活動を観ましたか」という調査の対象には入らないのでしょうか。</p>

事務局 (課長)	<p>丹波の森公苑の入場者数が把握できるのであれば、ここに含めても良いと思っております。対象になる・ならないではなく、あまり無理のない程度に数値を集められるものに対して、指標を作らせて頂いたということです。〇〇委員のご意見を参考に、丹波の森公苑に確認したいと思えます。シューベルティアーデについては、ご理解を得ていますので、丹波の森公苑ホールについても確認させて頂き、可能であれば合計数値として一緒に挙げさせて頂きたいと思えます。</p>
会長	<p>その他には、いかがですか。</p>
〇〇委員	<p>〇〇です。これが最後の審議会になるかもしれないと聞きましたので、思い切って発言しておきたいと思えます。64ページの子も達に焦点を当てた取組です。アンケート調査では、「子どもの頃から質の高い文化芸術に触れる機会が必要だと思う」が80%を超えていますが、「実際に触れる機会が充実していると思う」は15%という結果です。この差を市民に投げかけて、「丹波市は、子どもがもっと文化芸術に触れる機会を作りたい」ということを打ち出していけば良いのではないかと、私は思えます。特に、来年から新学習指導要領が始まりますが、その中で子どもが文化芸術に触れる時間が削られていくことを危惧しておりますので、丹波市には是非ここに目を向けて欲しい。具体的には、「市内の全ての小学生は、年に1回は美術館に行きましょう」という施策です。小学校の6年間に1度も美術館へ行ったことがない児童をゼロにして欲しい。「これは丹波市の施策です」というくらいに、具体的な施策を打ち出して欲しいと願います。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。〇〇委員がおっしゃったことにつきましては、私も学校教育課に同じようなことを言わせてもらいました。その中で、先程の繰り返しになりますが、授業時間等のカリキュラムが決まっている中で、なかなか難しいという回答でした。再度、〇〇委員がおっしゃったことを学校教育課に伝えて、市の施策として打ち出していけるようお願いしてみたいと思えます。</p>
会長	<p>先日のシンポジウムの中でもお話しがありましたが、博物館の管轄が文部科学省から文化庁に移りました。それがどういう影響を及ぼすのかは、まだ測りし難いところです。明日、それに関するシンポジウムが東京で開催されるので、もう少し知識を付けて行こうと思うのですが、「文化庁に移したから、芸術は教育から切り離そう」ということになったら、大変なことになります。それから、AIが人間に取って代わる職業が沢山ある中で、たぶん芸術教育でしか育めない人間の能力は、AIでは取って代わられない分野だと思うので、そこは戦略的にやった方が良いのではないかと思います。ただ、それには理論武装も必要ですし、もちろんお金も必要ですから、先程、〇〇委員が言われたことを重点化するというのは、相当の覚悟が必要だと思います。これは本当に重要なことだと思います。それから、もう一つは市民プラザです。私にはイメージが掴めていないのですが、「そこが行政のワンストップサービスになるようにしたら良いのではないか」というご意見だったと思えます。文化芸術の場合は、地域毎にしている活動と同時に、テーマや分野に沿った活動もあります。だから、地域コミュニティとテーマコミュニティの接する場が文化芸術だと思うのですが、その</p>

	<p>両方をコーディネートできるような、エリアマネジメントとアートマネジメントの両方ができるような専門人材が、少なくとも一人は必要だと思います。もちろん、専門的にホールや美術館で仕事をされる方はアートマネージャーとして重要ですが、エリア毎の色々な文化芸術を知っていて、一つの音楽や演劇だけではなく、様々な分野にも通じているような方がアートマネージャーやアートコーディネーターとして市民プラザに配置されていると、中間支援のような形で様々な良い効果が生まれてくると思います。そのような人材の育成として、まず一人を市民プラザに配置することが必要だと思います。これは私の願いですが、そのような制度を設けて頂けたらと思います。今度、市長にお出合いした際に、お話ししようと思っています。それによって、実効性が一步前に進むと思います。</p>
事務局 (部長)	<p>すみません。丹波市の市民プラザは、今年の10月にオープンしたばかりですが、先程おっしゃったように自治協議会や自治会等の地域自治をコーディネートしています。地域自治では、文化芸術や様々な地域課題に対しての支援、NPOやテーマ毎に活動されている地域活動団体の集約も行い、地域とテーマの両方の地域課題や丹波市の資源等がそこにストックされていくような仕組みにしていきたいです。しかし、アートマネージャーの配置、専門的なお答えやワンストップ的に解決ができるところまでには至っていないのが現実です。一旦は、全体をグリップできるようなものにしていきたいという思いはありますので、将来的には、〇〇会長がおっしゃったアートコーディネーターや専門的人材を養成・育成しながら、どの分野で必要かということもピックアップしていきたいと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
〇〇委員	<p>すみません。〇〇です。最後の方で申し訳ないのですが、先程、〇〇委員から「子ども達が文化芸術に触れる機会を切望する声があるにも拘わらず、接する機会が少ない」というお話がありました。私自身が音楽関係の文化団体に所属する中で感じており、ましてや事務局の文化・スポーツ課は一番ご存知なのではないかと思うのですが、丹波市では少年少女のスポーツが凄く盛んです。ですから、どちらかという、子ども達は文化よりもスポーツの方に向いています。特に私が所属する音楽関係でしたら、少年少女や子ども達を育てたいのですが、子ども達が集まらないのです。ほとんどが、少年少女のスポーツに取られているというか、そちらに興味を持っている傾向があるのではないかと考えています。その辺は、どうでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。例えば、中学校の吹奏楽部でしたら、私が中学生の頃は部員が少なかったと思うのですが、現在は市島中学校も氷上中学校も約40名の部員がいます。先日、青垣地域でマラソン大会があったのですが、その際も青垣中学校の吹奏楽部の生徒が沢山おられました。そのような状況を鑑みると、少子化で子どもの人口は減っているのですが、スポーツだけではなく吹奏楽にも興味を持っていると感じました。また、柏原高校のギター部は、卒業ライブやバンドフェスタに出演して頂いており、そちらも部員が多いようです。一見すると、スポーツばかりに行っているように思いますが、私からすれば、中・高校生は文化系の方に向いているのではないかと</p>

	<p>感じています。また小学生の場合では、この傾向が異ってくるかもしれませんが。</p>
会長	<p>地域格差というものは、本当にあります。例えば合唱でも、凄く盛んな県と全然そうでない県があります。吹奏楽も同じです。だから、これは長年の地域性や先生方のご努力等が、違いとなって出ています。簡単には変わらないと思いますが、子ども達の時間がどんどん少なくなる中で、スポーツ系に行くのか文化芸術系に行くのかについては、市の大きな方針に関わってくるのかもしれませんが。</p>
事務局 (課長)	<p>小学校の児童であれば、少年少女のスポーツで野球やサッカー等があるのですが、土曜日や日曜日には保護者が付いて行かなければならない等、そのようなことが辛いと思われるご家庭もあるようですので、一概には言えないのではないかと考えております。</p>
会長	<p>よろしいですか。〇〇委員。</p>
〇〇委員	<p>はい。結構です。</p>
会長	<p>後継者を考える場合、なかなか難しい問題です。</p>
〇〇委員	<p>民俗文化財ですが、どこかで一同に観るといった機会は無いのでしょうか。以前、私が担当していたのですが、和歌山県下の民俗芸能団体を集めて、公演会を開催しました。本来であれば、それぞれの団体で公演をすればいいのですが、それぞれの公演に行くのは大変なので、お互いに競うという形でお集まり頂いて、文化会館で発表会をしました。後継者を育てるとなると、発表の場を設けることが必要となり、それを大勢の方がご覧になれば更に良いのですが、そのような機会を上手く作れないかと思っています。練習も兼ねて、あるいは若い人を育てるといったことも、どこかの大きな舞台で発表ができれば良いのではないかと感じたりします。そうすれば、触れる機会を今以上に増やすことができるのではないかと思います。</p>
事務局 (課長)	<p>ありがとうございます。この計画には「文化芸術の広域交流を進める」という基本方針がありますので、そのような機会に異文化等も含めた交流ができれば良いのではないかと思います。また、可能であれば考えさせて頂きたいと思います。</p>
〇〇委員	<p>先程の発表会の際、司会者が「この祭りは、こういう祭りです」という説明を必ずしていました。写真も出して、「祭りの本番はいつです」というPRも兼ねて説明していたと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。本当に今日が最後の審議会になるかは分かりませんが、忌憚のないご意見を沢山頂きまして、ありがとうございます。皆さんの意見をなるべく活かして、最後にシェイプアップしていきたいと考えております。</p>

<p>会長</p>	<p>6 閉会</p> <p>では、閉会に当たりまして、〇〇副会長からごあいさつを頂きたいと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>去年の春からの長期間、ご苦労様でした。今日が最後の審議会になるかは分かりませんが、来年の1月20日に予定されております次回の審議会は、たぶん仕事の関係で出席できないと思いますので、私が出席させて頂くのは今回が最後になります。皆様のお力によって、良い形の計画がほぼでき上がりました。9月にあった前回の審議会での閉会あいさつで、「11月に来る時は、紅葉の真っ盛り」と言いましたが、本当にそのような感じになりました。紅葉が真っ盛りだということで、来週早々には高源寺へ行こうと思っています。よく丹波市を訪れますが、自然環境や自然資源に恵まれたまちですので、今回のこの計画によって、自分達のまちを誇れるような伝統的な文化資源に触れる流れが生まれてくると思います。「旧6町」は過去のことかもしれませんが、市民の皆さんが自分達のまちに対するアイデンティティを自覚される中で、まず、中の皆さんの意識が固まっていきます。それと共に、この計画を市外に発信していきながら、このまちに心の絆が生まれ、心豊かな生活がより充実していくという流れも生まれていくと思います。先程も〇〇委員からお話しがありましたが、スポーツと文化は二元論ではないと思います。スポーツに行く子ども達にも文化的な環境や文化芸術に触れる機会を増やしていきながら、将来世代が更に文化芸術に触れることができる方向付けを充実していくということが、この計画を推進する中で生まれていけばと思っています。</p> <p>これからの皆様のご活躍に期待したいと思います。どうもありがとうございました。</p>
<p>全員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>最後に、部長から一言お願いします。</p>
<p>事務局 (部長)</p>	<p>貴重なご意見を頂きまして、ありがとうございました。本日、頂きましたご意見を会長と調整しながら、またパブリックコメントや定例教育委員会でのご意見も踏まえて、会長から市長に答申書をお渡し頂くようなスケジュールになるかと思います。先程、課長が申し上げましたが、答申までに大きな修正が無ければ、会長と相談しながら次回の審議会の開催を決めさせて頂きたいと思います。本当に、大変お世話になりました。私自身も良い勉強をさせて頂きましたし、この計画を策定して終わりではなく、これを推進していくことが大事なことです。この計画を起点にして、丹波市民とまちが大きく変わっていく、文化芸術が推進していくという姿を委員の皆様にお見せできるように、頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。</p>
<p>全員</p>	<p>ありがとうございました。</p>